

アンケート結果を受けて改善したいところ 【自然科学系】

【理科教育】結果からは問題は見当たらない 新しい授業課題の提案
【教職】特段なし

・グループで協議する場と全体に発表して情報共有する場の時間配分を改善し、スムーズな授業展開ができるようにしたい。
・事前学習の内容についてしっかり考えたい。

全般的に「ややそう思う」が多いことから、どのようにすれば「強くそう思う」という感覚を与えられるか、今後検討したい。今の段階では、その方法が見当たらない。

問15に「1時間未満・なし」が7割を超えるというのは大問題であるが、前回授業で出した問題を次回の小テストの問題にして、小テストの評価の比率を上げるようにしてみたい。また、そうした小テスト問題の出題の仕方ができるような回を増やすこともしてみたい。

「教材・教具はわかりやすいか」という設問において、後期(理科中等)では「強くそう思う・ややそう思う」が、前期(社会中等など)のおなじ設問の87.2%より、22%程低くなっている。
後期に受講する学生が1.5倍に増え、教室いっぱいであったこともあり、聞こえづらいこともあったかと思う。資料や提示方法などを工夫していきたい。

特になし

○「難しい」「多い」との項目について、検討・改善を行いたい。

この授業は、各研究室でおこなっているので、アンケート結果にばらつきが出ていると思われるが、このままで良いと思われる。

真ん中よりだいぶ左によっているので、これでよいと思う。

・本授業の各アンケート項目について受講生は概ね満足していると思われるが、生活科に関する学術的・実践的関心をさらに高める授業を工夫していきたい。
・授業回数に関して、ホームカミング・デーにおける生活科の実践発表と講演を授業の一環として、計15回、実施した。そのことを事前に説明していたが、それを理解していない受講生がいたようである。今後、このような場合は周知を徹底するようにしたい。

・学修カルテは振り返り記述を行う道具の機能に特化します。そのかわりに、記述内容について学生に十分確認させ、表現に自己責任を持たせるような工夫を導入します。
・良質なコミュニケーションの実践へさらに努めます。具体的な例示や問いの提供等で学生による理解の確認ができる機会を確保します。教育意図を的確に伝え、学生の成長意欲を促すことで、教育成果の出現を目指します。

もっと学生の疑問に対して、フィードバックできるよう努めたいと思います。

授業の難易について「難しい」「難しすぎる」の選択率が高いのは、この授業では一貫して「受講生自らが考え、自分の言葉で表現すること」を最大の目的にしているからであろう。この授業では、考えるきっかけになるであろう「たくさん知識」を紹介し、それをもとに自らの考えを深めてもらった。この「たくさん知識」をすべて暗記しようとした受講生は、「難しい」「難しすぎる」と感じたかもしれないが、「たくさん知識」に共通に内在する主要な要点をおさえて自分の考えを深められた受講生は、そこまで難しいと感じなかったと推測する。今後は、後者のタイプの受講生が大半になるよう、授業内でのコメントを工夫したい。

- ・シラバスを配付し、毎回の授業で本時の位置と目標を明示すること。
- ・資料を見直し、新しい指導事例を豊富に提供すること。
- ・学生の探究のきっかけとなるような質の高い内容をさらに研究すること。

教科の専門ではない(主に美術・体育)の学生に対して、おおかた肯定的な結果が得られたのは励みにしたい。しかし、最も否定的な回答が数名以上あることについて、授業のなかでも意欲等において意識していたが、学生の互いの交流やピア活動による改善策も検討する。